

平成30年9月1日

## 平成30年度 海外インターンシップ報告書

信州大学 理学部 理学科 3年

実習期間	平成30年 8月 20日(月) ~ 8月 26日(日) 7日間
実習企業	KONDO TEXTILES VIET NAM CO., LTD
実習地	ベトナム

## 1. 実習目的

Chapter1 purpose

世界中で様々な事業が行われている現代で、日本国内では体験できない経験をする。また、海外にも工場を置くグローバルな企業の見学、及び現地従業員と英語での交流を通じ、国際感覚に触れる。

現地での生産管理、品質管理について学ぶ。

紡績工程について学び、実際に作業を経験する。

## 2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

設立 大正6年

本社 名古屋市中区丸の内2-18-25

従業員数 国内：500名 海外：1,700名

## 3. 実習日程

Chapter3 schedule

一日目：現地工場へ移動

二日目：ベトナムにおける繊維産業情報、会社概況説明、工場内防災システムについて

三日目：紡績工程の見学（綿からゴミを取り除くまで）、近隣の工場団地見学

四日目：紡績工程の見学（綿から糸になるまで）、品質管理について

五日目：工場内の空調システムについて、戦争跡地の見学

六日目：営業および経理について

七日目：移動

## 4. 実習内容

Chapter4 laboratory

原綿から糸ができるまでの過程で使用される機械の見学。

切れた糸をつなぐ糸繋ぎ体験や、製品を出荷する際の梱包体験。

原綿は燃えやすいため、徹底した防災システムの見学。

原綿の品質チェックや紡績工程で品質を保つための空調システムの見学。

工場内の改善提案活動の参加。

近隣のベトナム工場団地の見学及び、求人等の説明。

## 5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

工場では、様々な機械が動いていた。紡績にも工程がたくさんあり、各工程ごとの役割を学ぶことができた。

工場見学以外の時間で、現地の方とコミュニケーションをとる時間を与えていただいたり、社会人として注意すべき点についてなども学ばせていただいた。

私はコミュニケーションをとるのが苦手だったのですが、今回のインターンシップで、苦手を改善していく方法や会話の仕方など、自分に足りていないスキルをたくさん教えていただいた。

コミュニケーション以外にも、物事を実現させるためにはどうしたらいいかということも教えていただいた。叶えたい目標を持つだけでなく、強い動機を持つことでさらに実現に近づくというお話を聞いた。

今までなかなか改善できなかった点をたくさん指摘してくださったので、これからは、今回学んだことを意識して生活にいかしていこうと思った。

## 6. 今後の課題

Chapter6 problem

現在の自分に足りていない、社会人として生活していくうえで大切なスキルを再確認することができた。

私は、観察力と対話力のスキルが足りていないと今回のインターンシップを通して感じたので、今後の生活ではそこを補えるよう意識した生活を送りたい。

## 7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7Advice

迷ってるなら行こう。学生のうちに少しでも多くの経験を。

## 8. 謝辞

Chapter8Address of gratitude

今回、インターンシップに関わってくださった多くの皆様、大変お世話になりました。お忙しい中、事前に準備をしてくださりありがとうございます。皆様とたくさん話せてとても楽しかったです。このインターンシップは私にとってとても貴重な経験となりました。この経験を活かし今後も頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

※必要に応じてインターンシップ実習中の写真等を文中に挿入してください。

※行数は必要に応じて増やしてください。全体が3ページ以上になっても結構です。

※本報告書は、学生氏名、指導教員氏名を除いてインターネット上に公開します。